

各 位

会社名 大豊工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 高橋清八
コード番号 6470(東証・名証第一部)
問合せ先 常務取締役 村木武
電話番号 (0565)28-2225(代表)
U R L <http://www.taihonet.co.jp/>

フォルクスワーゲンから最高級車向けエンジンベアリングを初受注

大豊工業株式会社(本社:愛知県豊田市、社長:高橋清八)は、ドイツ最大手自動車メーカー フォルクスワーゲン社(以下、VW社)より、エンジンベアリングの受注に初めて成功しました。

採用されるのは、VW社の最高級車「フェトン」などに搭載されるW12、W8のガソリンエンジンで、当社はエンジンベアリングをドイツザルツギッター工場に納入しております。また、イギリスクリューで生産されている、ベントレーコンチネンタルGT用W12ツインターボエンジンに採用されています。

これは、当社の『鉛フリーベアリング』の性能が高く認められたもので、2003年10月6日～8日にドイツ、アーヘンで開催された“自動車とエンジン技術”のシンポジウム「アーヘンコロキウム」(AACHEN COLLOQUIUM)で、VW社から次のようなコメントをいただきました。

「大豊工業が技術的解決案をもってきてくれた。彼らの軸受(アルミ合金+樹脂オーバーレイ)は、品質も良く、コストも安価である。このような素晴らしいサプライヤーは見つけにくい。大豊工業の協力に感謝する。」

また、VW社は同シンポジウムにて、次のように発表しています。

「コンロッド、メインベアリングには特に注意を払った。エンジンが極めてコンパクトな設計のため、コンロッドの幅がわずかに13ミリ(ベアリング幅11.7mm)であり、他の有名乗用車エンジンに使用しているベアリングより、大きな負荷がかかることになる。したがって、シリンダーブロックとクランクシャフトの強度に関わってくる加工精度が最も必要とされると同時に、ベアリング材質への要求も極めて高い。」

日本のベアリングメーカー(大豊工業)の協力により、硬質アルミニウム・スズ合金ライニング+厚さ6μmの軟質な二硫化モリブデンオーバーレイの2層ベアリングの開発がされた。この構造により、いままで使用していたスパッタ-3層ベアリングに比べ、ベアリングの摩耗を大幅に減少させることが出来た。」

中略

「合計2万時間以上にわたるエンジン試験と、60万キロ以上の実車走行試験において、優れたベアリング性能発揮することが出来た。」

「このベアリングは鉛を全く含まないため、すでに重金属に関する新環境法に適應している。」

以上、大豊工業の“鉛フリーエンジンベアリング”技術が、欧州メーカーに高い評価を受けたことは、今後、当社のベアリング世界戦略の中で大きなきっかけとなります。これを機にVW社の他機種への拡販を始め、欧州自動車メーカーへの拡販を目指します。

受注の概要

- | | |
|--------------|--|
| 1. エンジンベアリング | アルミ系鉛フリー コンロッド/メイン ベアリング |
| 2. 受注量 | 20万個/’03年 40万個/’04年 |
| 3. 採用エンジン | W12ガソリン(6L)、W8ガソリン(4L) |
| 4. 搭載車両(参考) | (M2 Twin-Turbo) ベントレー コンチネンタル GT
(M2) VWフェトン(当社ベアリング搭載予定)
(M8) VWパサート(当社ベアリング搭載予定) |

以上